

夏絆

—なつな—

特定技能2号合格!

ベトナム実習生の奮闘記

夏原株式会社で働くベトナム出身の社員4名が「特定技能2号」に合格!

日本で長く働きたいという思いを胸に、仕事と勉強を両立しました。
仲間と支え合い夢を掴んだ4名の奮闘と、次なる目標を紹介します。

グエン ヴァン フンさん

「合格」して抱いた気持ち

仕事が終わってから、夜11～12時頃まで毎日勉強していたこともあり、合格できて心から嬉しく思いました。家族にも伝えたところ、とても喜んでくれました。特に実技試験は難しく、日本に来て8年目ですが、今まで最も困難な試験でした。

資格取得に向けて取り組んだこと

勉強は、ベトナム人のグループ内で宿題を共有し、一緒に問題を解きながら進めました。仕事が終わった後や、朝の通勤時間、休憩時間など、隙間時間を活用。普段の業務では経験したことのない分野の問題もあり、苦戦しました。

勉強のモチベーション

日本に長く滞在したいという思いが一番のモチベーションでした。特定技能の資格があれば、日本に長く滞在でき、将来的に家族を呼べます。また、今の会社は社長も皆も優しく、とても働きやすい職場です。8年働いていますが、これからも長く一緒に働きたいという気持ちも大きな支えでした。

今後の目標

次は建築の資格にも挑戦したいと思っています。会社にはベトナム人の仲間がたくさんいるため、皆で協力して頑張りたいと思います。現場の職人さんや他の日本人の皆さんがいろいろ教えてくれたり、文化の違いについて話したりするのが仕事の楽しみです。これからも、さまざまな業務に挑戦したいと思っています。



グエン ファム ティエン ロンさん

「合格」して抱いた気持ち

3回目の挑戦で特定技能2号に合格し、非常に嬉しく思いました。これでビザの制限がなくなり、日本で長く仕事を続けられるという喜びでいっぱいです。合格はホームページで確認し、周りの友達や先輩たちも一緒に喜んでくれました。

資格取得に向けて取り組んだこと

勉強は3～4か月前からスタートしました。試験ホームページの教科書をベトナム語に翻訳して理解し、模擬試験を何度も練習。わからない言葉は先輩に教えてもらいました。一番難しかったのは、実技試験で多数の道具の名前を覚えることでした。

勉強のモチベーション

帰宅後の夜間や休憩時間など、暇な時間を見つけて勉強しました。「これからも日本で仕事をしたい」という強い思いが一番のモチベーションでした。自分の業務外の知識(型枠やコンクリートなど)も身につけ、もっと仕事がやりやすくなるように頑張っています。

今後の目標

これから目標は、図面を読めるようになります。そのために、覚えていない漢字はメモを取って調べることを繰り返しています。将来は、皆から信頼され、どの現場でも仕事を任せてもらえるような「一人前」になることが夢です。



グエン フィンドゥックさん

「合格」して抱いた気持ち

特定技能1号の在留期間が2026年2月に迫っていたため、合格できて嬉しく思いました。勉強していた内容以上に試験は難しく、合格発表までは安心できませんでしたが、妻と合格を確認した後はすぐに家族、山口さん、社長に連絡しました。

資格取得に向けて取り組んだこと

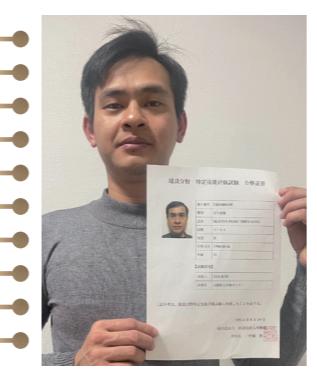
有料のオンライン講座で、週3～4日、仕事後の夜8時～9時半まで勉強していました。現場の休憩時間や車での移動中も携帯アプリで勉強するなど、仕事以外の時間はできるだけ学習にあてました。

勉強のモチベーション

一番は、不合格の場合は帰国しなければならないということでした。日本に来て10年、仕事も覚えてきたため、今帰るのはもったいないと思いました。仕事に慣れていない後輩を助けるためにも残りました。1歳半の子どももあり、家族と日本で暮らしたい気持ちも支えになりました。

今後の目標

まずは12月中に車の免許を取得します。その次の目標は、1級内装仕上げ施工技能士の資格取得です。国の資格で試験は年に1回、6月頃実施されるため、2026年の合格を目指します。今の現場では主流ではないやり方も試験には出るようで、仕事中に先輩たちに聞きながら勉強を進めていきます。



グエン ファム ティエン ロンさん

「合格」して抱いた気持ち

日本で長く働き続けるためには、在留資格の更新が欠かせません。特定技能1号の在留期間が残り1年ほどに迫っていたため、2号の資格取得は私にとって必須の挑戦でした。合格を聞いたときは、これからもこの国で仕事を続けられるとわかり、本当に安心しました。

資格取得に向けて取り組んだこと

試験までの2か月間は、毎日仕事が終わった後の2時間程度を、インターネットの講座での勉強にあてました。日本語は以前、日本語能力試験N3を取得していましたため問題なく、建築現場のことやコンクリート打設、設備のことなど、現場のすべてを勉強しました。

勉強のモチベーション

日本で長く働きたいという気持ちと、今の仕事で職長になりたいという目標が一番のモチベーションでした。職長は、皆をまとめて指示を出す立場であり、あらゆることを知っておく必要があります。そのための勉強だと思うと頑張る力が湧きました。

今後の目標

次の目標は、もちろん職長になることです。今は現場で、先輩たちに図面の見方や仕事の段取りを教えてもらっています。職長にとって段取りは一番大事なものです。先輩たちが期待してくれていることを励みにして、しっかり勉強します。



個人的BIGニュース2025

家庭に新メンバーを迎える、キャリアの岐路に立つ……。

2人の2025年を象徴する「BIGニュース」と、変化を乗り越えて未来へ進むための率直な想いを伺いました。



なかむら きょうへい
中村 恭兵さん

2026年の自分へ

これからもっと大きい現場も出てくるはずだから、それを無事収められるよう頑張って!

大きい現場の仕事が発生した際には、職長として積極的に携わることが目標です。また、子どもが増えて大変になりますが、妻と協力し、仕事とプライベートを上手に両立させ、2026年も無事暮らせよう努力していきたいと思います。

仕事編! /

次のステップへ進むための決断

仕事でのビッグニュースは、会社を退職する決断をしたことです。次の仕事は未定ですが、一度立ち止まり、これから的人生を考えるために時間を作りたいと思い、決意しました。来年2~3月まで勤務を続け、夏原社長からも「残りの期間を責任を持ってやりきってほしい」と、メッセージをいただいている。退職までの間は、引き継ぎを含め、しっかりと仕事を臨みます。



2026年の自分へ
残された時間を、
責任感を持って走
り抜けよう!

現在の会社にいる期間は、夏原社長の言葉通り、責任感を持って仕事に取り組み、引き継ぎに漏れのないよう最後までやりきりたいと思っています。

仕事編! /

初めての育休!

この度、第二子誕生のタイミングで初めて育児休業を取得しました。会社が育休の取得を認めてくれたことに、心から感謝しています!



プライベート編! /

念願の新居ゲット&家族が増えました!

2つのビッグニュースがあります。1つは、新居を建てたことです。一軒家の寒いイメージを覆す「暖かさ」にこだわって考えました。これから寒い時期も、快適に暮らせそうです。もう1つは、第二子となる男の子が生まれたこと。これで我が家は4人家族になりました。暖かく快適な新居で楽しく暮らしています。生まれたのが育休に入った当日の夜中で、タイミングもばっちりでした!

仕事編! /

次のステップへ進むための決断

仕事でのビッグニュースは、会社を退職する決断をしたことです。次の仕事は未定ですが、一度立ち止まり、これから的人生を考えるために時間を作りたいと思い、決意しました。来年2~3月まで勤務を続け、夏原社長からも「残りの期間を責任を持ってやりきってほしい」と、メッセージをいただいている。退職までの間は、引き継ぎを含め、しっかりと仕事を臨みます。



会業工事課 課長

おのうえ けんじ
尾上 賢司さん

こうのすけ
煌之助くん

2026年の自分へ
残された時間を、
責任感を持って走
り抜けよう!

現在の会社にいる期間は、夏原社長の言葉通り、責任感を持って仕事に取り組み、引き継ぎに漏れのないよう最後までやりきりたいと思っています。

感謝を伝える特別企画

2025年の『ありがとう』を言葉に

この特別企画では、社員の皆さんから「ありがとう」を伝えたい、大切な人へのメッセージを紹介します。日頃の感謝の気持ちや尊敬の念を通じて、皆さんの2025年を振り返りましょう!



きど ひびき やまだ
From 木戸 韶さん → To 母・山田かおりさん

感謝のエピソード

「やりたいこと」を応援してくれる母

2025年という区切りで振り返るというよりも、幼い頃から私を女手一つで育ててくれたことに心から感謝しています。特に、野球をはじめとする「やりたいこと」を全てやらせてくれたこと、そして高校にも進学させてもらったこと。本当に感謝の言葉しかありません。

野球を始めたのは小学4~5年の頃。私が「やりたい」と話すと、母は「やってごらん」と応援してくれました。母は、仕事が休みの日に野球の試合が重なると、よく応援に来てくれていたのを覚えています。私のやりたいことは何でも応援してくれる、そんな母です。

Message

母の最も尊敬しているところは、どんなに辛い状況でも、それを決して表に出さないところです。最近になってたまに愚痴をこぼすこともあります。子どもの頃は母の暗い顔や「大変そうだ」「辛そうだ」という顔を見たことがありませんでした。いつだって明るく笑顔でいてくれる母です。これからもっと頑張って親孝行して、いつか旅行などに連れていくなら良いなと思っています。いつも本当にありがとうございます!



まるやま じゅんぺい
From 丸山 隼平さん → To 夏原 崇介社長

感謝のエピソード

社員のことを考える姿勢

夏原社長は、偉い方だと感じさせないフランクさがあり、LINEでも気軽に話せるところが素晴らしいと思います。若手社員は普通、遠慮しがちですが、まったく壁を感じさせません。以前、私が家の事情で欠勤を連絡したときも、「大丈夫だよ」と、全く嫌な顔をせずに受け入れてくれました。常に社員のことを考えてくれる方だと感じています。

Message

年齢や経験に関係なく、誰にでもフラットに接してくれる夏原社長を心から尊敬しています。いつも、誰にでも、分け隔てなく接してくれて、非常に頼りになる社長です。2026年は仕事を任せもらえるように精いっぱい頑張ってまいります。これからもよろしくお願いします!



はまわき かける
From 濱脇 翔さん → To 濱脇 喜代太郎さん

感謝のエピソード

高校時代から続く、毎日の愛情に感謝

父が、毎日お弁当を作ってくれています。仕事の昼食時も食べているため、とても感謝しています。高校の頃から、基本的にはお弁当は父が作ってくれました。父のお弁当で大きくなったといえるし、今、仕事で大変なときにも精神的に支えてもらっています。

Message

父は工場などの廃棄物を回収する仕事をしており、朝は早く起床します。そのような忙しいときでも、私の弁当を欠かさず作ってくれています。父は私の将来の目標であり、憧れの人物です。父のように、仕事も身の回りのことも、家族に対しても、しっかりと責任と愛情を持って接することができる人にになりたいと考えています。これからもお願ひします。いつもありがとうございます!